

「できることより、 変わること！」を 大切に！



小学5年生の

チャーム臨海学校

身体も心も

たっぷり汗を流したね

忘れられない2泊3日

「今年度は、4Cでいこう！」これは、5年生にとって大切なこととは何か”を学年の先生たちで話し合った結果、キーワードの頭文字を使い、今年度の5年生のテーマにしたものです。chanceがあれば失敗を恐れずchallengeし、changeしていい。communicationには、一人ではなく、みんなで励まし合ったり教え合ったりしながら成長していこうとの意味を込めました。教育は共育の言葉が意味するように、5年生の教員が子どもと共に成長する中で、子どもの成長を信じ育んでいこうと心一つにしてスタートしました。

まず、初めにチャームでの4Cとして取り組むことを子どもたちに示しました。それは「自立・自律しよう」「認め合おう」「盛り上がる」の三つです。この三つにチャレンジし、変わることができかが今回の挑戦目標となりました。

1日目

オリエンテーリング、ナイトウォーク

出発式でバンコク日本人学校5年生の伝統となっている「チャームコール」で大きな声を出し、気持ちを合わせた後、バスに乗り込み2泊3日のチャーム臨海学校がスタートしました。

チャーム臨海学校は、バンコク日本人学校伝統の遠泳にはじまり、屋外で行う活動が多く、毎年、天気と睨めっこです。1週間ほど前から天気は下り坂でしたので、バスの中から曇った空を確認する度に、「なんとか天気がもたないかな」と祈るような気持ちで出発しました。

ホテルに着くと、子どもたちのために特別な舞台が用意されており、歓迎の文字が躍っています。例年のことですが、ホテルの方々の歓迎の気持ちを感じてスタートできることに感謝しています。

おいしいビュッフェ形式のお昼ご飯を満喫した後は、いよいよオリエンテーリングが始まります。オリエンテーリングでは、各クラス男女混合6グループに分かれ、チェックポイントを回ります。まだ5年生が始まって2か月弱ですので、この活動には、子どもたち同士のかかわりを増やし、絆を強めて欲しいという教職員の思いが込められています。グループで声を合わせて大きな声で歌を歌ったり、クイズを解いたりしました。みんなで手を繋いで課題を解く人間知恵の輪では、日本人学校のタイスタッフさんが手助けしてくれださり、とても盛り上げてくれました。本当に感謝です。天気も良くなり、暑い中での活動となりました。



その日の夜は、ナイトウォークと呼ばれる、いわゆる肝試しです。数年前より電灯がついてしまいい、だいぶ明るくなってしまいました。ですが、それでも近くの友達の顔が分らないぐらいの暗さの場所が殆どです。私が立っけていても

「鈴木先生でしょう！絶対そうだよ。」などと、おっかなびっくり声を掛けてきます。子どもたちは、きやあきやあ言いながら歩いていました。ホテルの帰り道に、マリオに変装した教員にも驚かされながらも無事活動が終了しました。

就寝の準備が終わると班長会があります。班長には、今日の反省や明日の注意点を伝えています。これも子どもたちの「自立・自律」をしていくための活動です。真剣な面持ちで教師の話聞きメモをする姿勢に子どもたちの真剣さが伺えました。

2日目

遠泳、絵手紙、キャンプファイヤー

2日目は、いよいよ遠泳です。早朝、雨が降り続いていたので開催を危ぶみましたが、子どもたちが起床する6時頃になると不思議

と雨が止みました。海の様子を見に行くと、浜のぎりぎりまで海水が増えていて絶好の状態になっていました（昨年度、そして、前日の昼に確認したときには浅過ぎで、それを心配していました）。

そして、極めつけは、1カ月に渡るこれまでの子どもたちの遠泳練習での努力を祝するかのよう綺麗な虹が架かっていました。そして、準備運動をした後は、クラスごとに円陣を組み元気に声を出します。遠泳への緊張感もあつてか、ここでは子どもたちの「協力しよう」「みんなで頑張ろう」という心の声が聞こえてくるような気がします。笑顔と緊張感とに包まれ泳ぎ出す、そんな健気な児童達に教職員スタッフみんな「頑張っておいで」と声を掛け続けました。遠泳から帰ってきた子どもたちに聞くと「疲れた」「頑張ったよ」「先生、もう少し距離が長い方がいいよ」などと感想も様々でしたが、どの顔もやりきった何とも言えない凛々しい表情をしていました。

そして、ブルーハワイ（御配慮で、ウエルカムドリンクをこのタイミングで出していただいています）を飲みながら満足そうな表情

の子どもたちの様子が微笑ましく、たくさん写真を撮ってしまいました。「先生、もう一杯飲んでいいですか？」と駄目と言われることが分かっていながら聞いてくる子どもたちにも笑顔になりました。

遠泳が終わり、事故なく終えたことに安堵しながら部屋に戻って着替えをしていると、雨が降り出しました。暑すぎず、ここでも天気に恵まれました。直後の昼食の前には、水泳コーチ感謝の会を行い感謝の気持ちを伝えます。児童代表の言葉、それに対して、水泳コーチからも日本語で言葉をいただくなど、すてきな会になりました。

午後は絵手紙コンテストです。昼食開始時には、雨が降り続いていたので心配しましたが、夢中になって食事をしている間に止んでしまい、ここでも奇跡的にスケジュール通りの開催となりました。学校で事前に絵手紙コンテストの指導した際には、絵が苦手な私のような子どももいるのではと思いい「先生は、絵手紙コンテストの時間がとても大好きだよ。」と子どもたちに話し、絵手紙の良さを伝えました。実際、教室で絵手紙を描いてみるとその楽しさが分かったようで、夢中になって取り組んでいました。当日は、先生も子どもたちも初めての宿泊や遠泳

などの緊張から解放され、座ってゆつくりと絵を描くこの時間を楽しみました。見て回っていると出上がつた俳句や絵を子どもたちからたくさん見せてもらいました。どれも個性的で、こちらの想像を超えた絵や俳句を作る子どもたちに驚かされました。絵や俳句をどう読んだり描いたりしたら良いか悩みながらだつたとは思いますが、集中して取り組む姿が立派でした。

夜は、キャンプファイヤーです。ホテルのスタッフが用意してくださったまき、そして、日本人学校のスタッフの方の手作りトーチの登場です。火の神から勇気、絆、友情、希望、愛情、それぞれの火を各クラスの代表児童がもらい火を着けます。ここで「遠き山に日は落ちて」を歌い、ムードが高まりました。その後は、恐怖のやまびこ、貞子が出てきて怖くて驚いた番長皿屋敷など催し物が続きます。そして、みんなが大笑いした「はなやかしまししょう」というゲームがありました。練習してきたダンスも大盛り上がりで、とても楽しい時間となりました。

キャンプファイヤーの締めは、「地球聖歌」の大合唱。こんなに気持ちが高まり大きな声で歌っている子どもたちにこちらが感動。それは、今回のチャームでの4Cである「もり上がろう」を達成で

きた瞬間でもありました。

最終日 砂の芸術祭

そして最終日。最後のイベントは砂の芸術祭です。当日まで、担当の児童を中心にデザインを考え役割を分担して臨みました。昨年度とルールを変更し、海から水を汲んでくる人数を増やすなど、児童が主体的に工夫する場面を作りました。各クラスとも協力し力を合わせている様子が印象深かったです。そして、活動の合間にある

入水タイム（暑さ対策で途中に海に入っています）も、担任に水を掛ける子が出てくるなど、こちらも楽しかったようです。砂の芸術祭は暑さが天敵ですが、ここでも暑すぎることがなく、子どもたちが集中して砂の芸術を作成していました。楽しく活動できました。

帰りのバスでは、寝て過ごした児童もいましたが、私の乗車したバスでは、そんな友達に気を配りながら即興で作ったクイズで場を盛り上げるバスレク担当の逞しい子どもたちがいました。もちろん教師の指導も入っていますが、そんな細やかな配慮をしながら行動できるのだなと感心しました。

いよいよバスが学校へ近づいてくると、教員の持っている無線には、学校からの連絡が届くように

なります。ここで初めて大きな事故がなく無事終われるのだなと感じることができました。また、土曜日にも関わらず出迎えをしてくれた先生方を見て心から安心しました。そして、保護者のみなさまも時間通りにお迎えにきてくださり、到着時間も予定通りだったことも重なってスムーズな下校となりました。同僚の先生から「先生たちも、子どもたちもとても良い表情で帰ってきたね。」と言われ、チャーム臨海学校が大成功だったことを実感することができました。

学年が始まって直ぐのこの時期は、クラス替えがあるので、子どもたちにとつて、教室の友達の殆どが他のクラスから来た人や編入してきた新しい友達になります。みんなが編入生の感覚なのかもしれません。そのため、子どもたちにとつては、毎日が新しい人間関係を作る緊張した日々になります。

そんな中で行われる初めての宿泊行事に不安がない子の方が少ないのかもしれない。ただ、このチャーム臨海学校を終えると、一気に子どもたちの関係が深まり緊張が解けていきます。クラスとしても学年としても一つになった感覚があります。子どもたちの力はすごいなと感心するくらいです。毎年、この時期に、このような緊張の続くマイナスの状況からプラ

スへと変化していくこと、まさにchangeできる経験をするには、子どもたちにとつて貴重な財産になるはずです。

チャーム臨海学校というchallenge、challenge、communicationすることに関係を深めていける素晴らしさを経験した5年生。心から褒めてあげたいです。チャームを通して新しい課題も見つけましたが、子どもたちを健やかに笑顔で楽しく成長させていくことは教員のchallengeでもあります。ここから本当の勝負です。残りの8か月間、二度とは戻らないこのパンコク日本入学校での貴重な日々を通して、子どもたちが自分らしく成長していけるように支えていきます。

最後に、チャーム臨海学校を無事に終えられたのも、タイのスタッフ、水泳コーチ、HISのみなさまのおかげです。細部に渡りご配慮いただいたことに心から感謝申し上げます。そして、荷物の準備やお迎え、そして、子どもたちを支え励まし送り出してくださった保護者の皆様、本当にありがとうございます。これから5年生の教員一同、子どもは社会の宝と捉え、共に歩んでいきます。



▼……………1組 田代旺佑

僕は、チャーム臨海学校でいろいろなことを体験しました。その中でも一番楽しかったのは遠泳です。理由は、バディと一緒に練習してきて300M完泳できたからです。それに、完泳した後の氷砂糖やブルーハワイが最高においしかったです。それから、僕が一番チャームで頑張ったことはキャンプファイヤーです。レク係として、盛り上がる場所は盛り上がって、落ち着くところは落ち着くことができました。部屋でもUNOやいろんなおしゃべりをしてとてもいい思い出になりました。みんなで頑張ったのでクラスが仲良くなったと思います。

▼……………2組 大久保千那

私は、チャームに行ってキャンプファイヤーなどでしゃつかり話を聞くときは聞き、踊ったりするときは全力で踊るといふように、前までできなかったこと、はじめをつけることができるといふようになりました。チャームの最終日、みんなが「疲れたね。」と言っているときにも、

しゃつかり話が聞けるようになりました。それを家に帰ってからも気を付け、勉強と遊びの区別をつけることができるようになりました。私は、チャームでたくさんのおことが出来るようになったので、普段の生活でも、これらのことに気を付けることができるようになりました。

▼……………5組 木下智景

私は、チャーム臨海学校でいろいろなことがあったと、終わった今、思います。砂の芸術祭では、監督を中心にみんなで協力して良い作品を作りました。キャンプファイヤーでは、山崎先生や他の先生が汗をたくさんかきながら盛り上げてくれました。メインの遠泳では、今までの練習の成果が出て、バディと協力できました。集合するときは、時間を見て行動することが大切であることを改めて実感しました。私は、このチャームでみんなと協力したことなどは、いつまでも心に残る大切な思い出になったと思います。

▼……………8組 伊吹さくら

私がチャームへ行って思ったことの一つ目は、みんなと協力してチャームを作り上げることができたことです。行く前は、「楽しく過ごせるかな。」と心配でしたが、とても楽しめたからです。二つ目は、みんなと絆を深められたことです。まだそんなに仲が良くなかったけれど、イベントなどを通して絆を深めることができました。三つ目は、助け合えたことです。ナイトウオークやキャンプファイヤーでは怖くて泣いてしまっただけれど、みんなが「大丈夫？」と声を掛けてくれました。私は、そんな人達に恩返しをしたいです。

▼……………9組 丸山凜華

私は、キャンプファイヤーのときに「地球聖歌」をみんなと歌ったときの夜空に響き渡ったあの歌声で、5年生全員の絆が結ばれたような気がしました。チャームはこれで終わってしまうけれど、これからもいろいろな思い出を作っていけると感じました。また、砂の芸術祭で

は、それぞれが楽しく役割を果たしたことで、あれだけ素晴らしいトカゲを作ることができたとおもいます。みんなと声を掛け合って作ったトカゲは、本当に世界一大きなトカゲになりました。

▼……………10組 柴山怜央

僕は、小さなころから泳ぐのが苦手でした。最初は「遠泳なんてやりたくない。」と思っていました。けれど、だんだん泳ぐのが好きになってきました。そのきっかけは、僕のバディの村瀬さんが熱心に教えてくれたからです。そして、だんだんとこつをつかんできて泳げるようになってきました。当日、波が高くて思うように体が動かせないときでも、村瀬さんはすぐ気を遣ってくれました。ぼくは、自分のバディと協力することによって、チャームのメインイベントの遠泳を泳ぎきることができました。ぼくは、チャームで仲間と協力することのこの意味を改めて知ることができました。

理事会議事録（二〇一九年六月十一日）（火）開催

一、会長報告（会長出席案件）

- ・五月二十日（水）泰日協会懇親ディナークルーズ
- ・五月二十九日（水）車椅子バスケットボール英国女子ナショナルチームレセプション

於：Sleration Grande Sukhumvit Hotel

- ・五月三十日（木）令和天皇陛下祝賀記念レセプション 於：大使公邸

- ・六月一日（土）WiSEファミリーフェア

於：The Westin Grande Sukhumvit Hotel Bangkok

- ・六月二日（日）日本人会後援イベント 小林さやか特別講演会

於：Marriott Executive Apartments Sukhumvit Park

- ・六月四日（火）サミティベート病院 日本人クリニック開院式

- ・六月五日（水）Megafar 社十周年記念パーティー

- ・六月七日（金）日本人会後援イベント 肉祭りオープニング 於：MBKセンター

- ・六月八日（土）シーカー・アジア財団授与式

- ・六月九日（日）童心夢結い2019 於：Bangkok Art and Culture Center

二、新理事承認（渡辺理事）

- ・猪股正樹氏 (NTT Communications (Thailand) Co., Ltd.)

→ 異議なく承認された。

三、一般報告

- (一) 五月度個人会員動向

入会者 一三〇名

退会者 一三九名

現会員数 六、五六六名（内、準会員二五五名）

- (二) 五月度賛助会員動向

（入会）一社

- ・Mitsumoto Coffee (Thailand) Co., Ltd. (カフェ)

- ・International School Bangkok (学校法人)

（退会）一社

- ・Kikuchi Narrow Fabric (Thailand) Co., Ltd. (自動車用シートベルト製造)

- ・Thai Kokudai Co., Ltd. (日本文化を学ぶ教室)

現会員数 五六八社

- (三) 五月度会館来訪者数

本館… 一三五名（実数 一〇六名）

別館… 一〇〇名（実数 六九八名）

合計… 二、三三五名（実数 八〇四名）

- (四) 五月度会計報告

・五月度収入は、三四二万バーツ

（前年同月 四五二万バーツ 前年同月比七五. 六％）

・五月度支出は、二六七万バーツ

（前年同月 一五八万バーツ 前年同月比一〇三. 六％）

・単月収支は、七三万バーツ

（前年同月 一九三万バーツ 差額 九四万バーツ）

- (五) 法人会館利用

・一般法人向の会館利用実績の紹介。十月末までに七件の予約を受付している。

- (六) 会員優待店

《新規加盟》

・串匠いし本タニヤ本店 Wine&Kushikatsulshimoto Nikko Babgkok 店

・クルマ相談窓口

・106 HAIR STUDIO

二社が入会頂き九十九店舗となった。

- (七) 寄贈報告

・現金の寄付

三村洋三名誉会員より、チャリティー基金に三千バーツ、納骨堂カンチャナブリ基金に三千バーツ、会館クラブ基金に四千バーツ、合計一万バーツを寄付頂いた。

・本の寄贈

福音館書店・村嶋英治様・藤井康秀様・浅井衣子様・上野義弘様・岩崎悦子様・園妍様
その他三名より、三〇八冊の寄贈

- (八) その他報告（事務局）

・六月・七月の主な会議と、各部の主なイベントを紹介した。

四、タイ国日本人会後援名義・ロゴ使用申請(事務局)

(一) 対象事業名：タイ移住・長期滞在セミナー in バンコク (仮)

開催日：二〇一九年八月二十四日(土)

主催：タイランドエリート正規代理店 株式会社大丸トレディング

要請事項：日本人会後援名義・ロゴ使用・会員向けイベント告知

→ 異議なく、承認された。

(二) 対象事業名：Jurassic Plastic 展

開催日：二〇一九年八月二十六日(月)～十月十三日(日)

主催：国際交流基金バンコク日本文化センター

要請事項：日本人会後援名義・ロゴ使用・広報協力・別館での不要おもちゃ回収箱の設置

→ 異議なく、承認された。

五、準会員申請

・Ms. Mayumi Tsuji (タイ国籍)

→ 異議なく、承認された。

六、就業規則改定(渡辺理事)

二〇一九年四月五日、一九九八年労働者保護法の改正法がタイ官報に告示され、五月五日より改正法が施行されることとなった。事務局職員の就労規則について、改正法に則り改定する。用事休暇を新設・出産休暇・解雇補償金を改定する。

→ 異議なく、承認された。

七、チャリティー基金運営委員会(西村理事)

・委員委嘱

チャリティー基金運営委員会の規定に則り、理事からのチャリティー委員を萩原副会長

谷チャリティーバザー実行委員長、藤田婦人部長兼チャリティーバザー実行副委員長に委

嘱した。

・寄付報告

ワットリアップ育英基金への五万バーツの寄付報告

八、各部・各委員会報告及び提案等(報告順)

(一) 婦人部(藤田理事)

・五月二十八日(火)「インド料理を学ぼう! デモンストラーションランチの会をHoliday Inn Bangkok Sukhumvit Maya Restaurant」にて開催。二十名の定員に七十七名の応募があり、定員枠を四十名に広げての開催となった。アンケートによると非常に好評であった。

・六月二十五日(火) ウェルカムパーティーを開催予定。

(二) 文化部(田中(郵船)理事)

・七月二十日(土) 文化部同好会タイを知る会主催 佐渡島大使講演会(佐渡島大使とタイの繋がり) 絵画を通じて感じたタイ社会」を開催予定。

(三) 教育部(田中(郵船)理事)

・六月二十日(日) 二〇一九年度第一回英語検定をバンコク日本人学校にて開催した。二級八十名、準二級九十五名、三級八十一名、四級五十八名、五級四十九名、合計で三六四名、ボランティア三十七名、日本人学校教頭先生一名にお手伝い頂いた。

(四) 青少年部(酒井理事)

・五月、六月の対外活動を紹介した。三月末より帰国などで部員数が二十八名減少しているが、各サークル、体験会を実施しており今後増えていく見通しである。

(五) 企画推進部(伊藤理事)

・六月号の情報誌用の広告を紹介。

・六月一日(日) 新生活応援フェア「WISIEファミリアフェア2019」に出展した。当日十七組二十名の入会があった。日本人会LINEに二六名登録頂いた。すくすく会及び出産準備教室の皆さんに協力頂きセミナーを開催した。入会者向けの特典について、各社の協賛を頂き感謝申し上げる。入会者にも大変好評であった。

・八月七日(水) JICAとの共催イベント、「夏休み企画 親子で参加! チャオプラヤ川流域の橋と治水事業視察」を開催予定。橋の建設に携わった土田理事にも参加頂き解説をお願いする予定。

(六) 在タイ日本国大使館(野中領事部長)

・六月五日(水)、タイ国議会においてフラヌット首相が再選された。国王陛下の承認を得て正式に首相に就任する見込みである。

・五月二十四日(金) 政治集会に関する注意喚起をメールにて発信した。民主活動家の政治集会が活発であることから不測の事態に巻き込まれないよう注意して頂きたい。大使館では引き続き危険回避のための情報提供に努めていくので、メールを受信したら十分に注意

して頂きたい。

(七) 会報部 (富水理事)

・七月号の表紙は、ラム・パーン県
・特集は、「サークル紹介」

・二〇一九年度タイ国日本人会定期総会の報告
・「きっかけはタイ」連載二回目は、豆生田信一氏

(十) 事業部 (神原理事)

・五月二十日 (月) 石井理事、懇和会有志とともに、懇和会有志で行っている写経を納経するため高野山に訪問した。

・六月二十一日 (土) ワットリアップ喜資資金伝達式に参列し、チャリテイー基金からの五万バートを贈呈する予定。

・七月四日 (木) 懇和会講演会「タイ国で健康に年を重ねるコツ」膝の痛みや転倒防止を中心に」を開催予定。講師は、神奈川県立保健福祉大学教授 田中繁治氏・倉敷平成病院理学療法士主任博士 井上優氏。

(九) 運動部・ゴルフ部 (神原理事)

・五月十九日 (日) ゴルフ部第七〇九回月例会をラムルツカC. C. にて開催。Aクラス優勝大橋智樹氏、Bクラス優勝窪田洋之氏。

・七月七日 (日) チュラロンコンOB対抗ゴルフにゴルフ部員二十六名にて参加予定。

(十一) 食堂運営委員会 (石井理事)

・五月の売上は昨年同月比八七、四%の一、五七二、三八〇バート。タイ人顧客数三、九八二名、邦人顧客数二、二八六名、顧客総数五、二六八名となっている。邦人顧客会費利用者延べ人数は、四九名、実数二、三九名。

(十二) バンコク日本人学校代表 (室賀校長)

・六月七日 (金)・八日 (土)、小学校五年生のチャーム臨海学校を開催。伝統の遠泳を行なった。

・六月七日 (金)、豪雨と雷のため下校が混乱し、児童生徒の帰宅が遅くなった。バス会社から各家庭に個別に連絡したこともあり、大きな混乱はなかった。

・六月二十四日 (月) ~ 二十六日 (水) 六年生のチェンマイへの修学旅行を実施予定。

(十二) タイ情報誌制作会社代表 (西岡代表)

・六月一日 (土) WiSEファミリーフェアへの協賛を感謝申し上げる。また、日本人会のブースでは、飾りつけや風船が目立っており、明るいイメージであった。日本人会を知らない方に知って頂く良い機会になったと思う。

(十三) 運動部 (事務局代理)

・六月五日 (水) 第四十三回ソフトボール大会・監督会議を開催した。十二チームが参加。組分け抽選などを行った。開会式は七月七日 (日) Rawinitt Bangkok School にて開催予定。

(十四) 広報部 (事務局代理)

・五月のホームページアクセス状況は、訪問数八、七七四、閲覧数二〇、七九二。前年同月比、訪問数二二、五%、閲覧数九八、三%。前月比は、訪問数一〇六、九%、閲覧数九八、六%。タイからの訪問数は七一、五%、日本からは二、一九%。

・二〇一七年一月より、月曜日と木曜日にLINE配信をしている。LINE登録者数は先月より一七二名増加し、二、五七三名 (有効数 一、八二名) となっている。

・四月二十二日 (月) からFacebookにて、イベントに関する投稿を開始した。五月末までに二二三回配信、フォロワー数は六七四名。

(十五) 事務局報告 (熊本事務局長)

・七月の会議スケジュールを確認。

八、五月度理事会 議事録承認

―― 異議なく承認された。

十、理事会出席者 (敬称略 順不同)

島田会長、伊藤、酒井、荻原各副会長、渡辺、加藤、猪股、仲野、藤田、富水、田中 (郵船)、日時本、土田、桐生、西村、神原、石井各理事、朽木、大竹各監事、野中領事部長、室賀、バンコク日本人学校校長、宮崎JICA (国際協力機構) 所長、小田原、バンコクスリウォンロータリークラブ代表、西岡タイ情報誌制作会社代表、事務局 (熊本・村上・佐藤)

タイ国日本人会 ゴルフ部 第710回月例会成績

日時 2019年6月16日(日) 場所 ラムレッカC.C.

参加人数名 52名(クラブカップ決勝2名、Aクラス26名 Bクラス20名 査定4名 体験0名)

【クラブカップ決勝 工藤 智英選手 優勝】

第20回クラブカップ決勝は工藤 智英選手 vs 河野 豊選手で行われ、4&3で工藤 智英選手が勝利し見事優勝となりました、おめでとうございます!!

Aクラス (平均スコア 89.10)

順位	名前	OUT	IN	GROSS	Hcp	NET	新HD
優勝	渡邊 信二	40	37	77	4	73	
2	大井 磨一	46	38	84	10	74	
3	岡本 貞明	45	40	85	11	74	
4	高橋 新太	43	41	84	10	74	
5	松岡 一也	44	43	87	12	75	

Bクラス (平均スコア 97.20)

順位	名前	OUT	IN	GROSS	Hcp	NET	新HD
優勝	細谷 知行	41	43	84	13	71	リーチ
2	砂原 卓夫	45	48	93	21	72	
3	小幡 正純	40	48	88	15	73	
4	古原 充	43	44	87	13	74	
5	岩間 崇真	49	43	92	16	76	

査定ラウンド6月度は4名でした。

名前	OUT	IN	GRS	提出平均 GRS	提出推定 HC	新HC	新クラス
坪内 俊	41	45	86	85.3	10~12	11	A
堀越 康之	45	43	88	86.5	10~12	11	A
細田 和貴	44	47	91	86	11~12	12	A
秋葉 勝義	55	47	102	91.5	16~18	18	B

- 「ゴルフのルールを覚えたい」「競技ゴルフを楽しみたい」 ゴルフ部月例会で体験ラウンドに参加してみませんか! 興味のある方はメールまたはお電話でお申し込みください。 golfyoyaku@hotmail.com 062-709-0792迄
- 2015年7月例会よりハンデによるクラス分けが変更になりました。ハンデ12まで→Aクラス ハンデ13以上→Bクラス
- 月例会
ゴルフ部は、毎月第3日曜日にラムレッカCCにて競技会を行っております。
A・B各クラスの優勝者には SixonSports(Thailand)Co.,Ltd.様よりボール1ダースを、
また、日本食レストラン 和食“庵寺”様より1,000円分のお食事券をご提供いただいております。
ゴルフ部への入部は随時受け付けております。入部ご希望の方はゴルフ部のホームページをご覧ください。
- 月例会終了後、成績発表及び入賞者の表彰式を行っております。ぜひご参加ください。

ゴルフ部のホームページ(<http://www.jat-golf.org/>)で、月例会の成績、入部手続等々がご覧になれます。

発行 2019年8月1日
 編集人 富永 康行
 発行人 タイ国日本人会
 印刷・製本 YAMAGATA(Thailand)Co., Ltd.
 発行所 Japanese Association in Thailand
 1stFL. Sathorn Thani Bldg. II
 92/2 North Sathorn Rd., Bangkok
 10500 Thailand
 Tel. 0-2236-1201
 Fax. 0-2236-1131
 E-mail : info@jat.or.th
 www.jat.or.th
 編集協力 Plant Planet Co., Ltd.
 レイアウト OT Promotion Co., Ltd.

〈非売品〉
 落丁・乱丁の場合、事務局にてお取替えます。
 禁 無断転載

【編集後記】
 臍脂色の色をした薄くてパリパリの皮を剥くと、甘くて優しい香りが打ち薫る。今年もやってきた、ライチの美味しい季節。昨年タイに来て生まれて初めて冷凍ではない生のライチを食べ、そのみずみずしさと優しい甘さにすっかり虜になってしまった。ライチの美味しい季節は一瞬で過ぎ去ってしまったので、今年は後悔しないようにたくさん食べようと企んでいる。足しげく八百屋に通い、大量に買うのは良いのだが、消費しきれずに冷凍するので、食べているのは結局冷凍ライチなのである。
 Y.
 W.



連載 72

マラッカとアユタヤ (2)

レヌカー・M

● マラッカのサンチアゴ砦門

マラッカの丘の前に立つ砦門は、1511年のポルトガル船団によるマラッカ収奪の際のアルブケルケの建造物の名残である。16世紀のオランダの攻撃と占領と百年余の支配を観て、19世紀初頭のナポレオン戦争の余波でマラッカが大英帝国領となり、破壊されることをラッフルにより救われた歴史的建造物である。

ラッフル卿が大英帝国東インド会社本部に書いた手紙にも、鶴見俊輔氏の『マラッカ物語』にも記されていないが、この門も砦もラテライト製なのだ。

● 古代建材ラテライト

ラテライトは東南アジアに特有の地下資源といわれる。石ではなく、鉄分を多く含んだ赤土粘土である。掘り出すと、大気に曝されて不可逆反応がおこ

り、堅くなる。耕作地を掘っていて、ラテライトにあたったら、そこで終わりであるが、建築基礎材としては使える。

扶南美術、モン古代建築、9世紀から12世紀のクメール美術も、この建材なしにはなりたない。アンコール・ワットもアンコール・トムも、基礎は全てラテライトなのである。

● 東南アジアに限らない産地

太平洋のニュー・カレドニア島にも地下資源として存在することは、20年前、アジア工科大学の新居教授からうかがった。東インドのオリッサでも、ラテライト採掘場を見たことがある。

昨年8月、マラッカを再訪した。過去に20回以上訪れた地であったが、今回3年ぶりに訪れたマラッカは大変貌していた。オランダ歴史散歩道、海峡に突き出たモスクに目を見張ったが、嬉しかったのはサンチアゴ砦跡の発掘が始まり、基礎に用

いたラテライト・ブロックの掘り出されていた16世紀初頭の基礎である。

「ポルトガルはこの建材をよく知っていたのだ」
イスラム教徒と知れば、すぐ殺す。女子供老若容赦ないポルトガル人の残酷さに辟易していた著者であるが、ラテライトの建材の価値を知る点では、好意を寄せてしまう。

● ポルトガル船寄港の先々で

西インドはグジャラート州のディウ島に1520年頃、ポルトガルが建設した砦がある。高い砦壁の前に堀がり、堀の壁はよく見れば、ラテライトの切り出しというか、ラテライト土壌を切ったら、その側面がワンピースのラテライト壁になってしまったものである。

タイでも、プラチンブリのシー・マハーポー遺跡のモロコット池には、ラテライト断面に施した彫刻が残っている。

堀の反対側の砦壁は自然のラテライト切り出しの上に、ラテライト切り石を、目地をかなり大きくとって、積んだものだ。

塩水でもラテライトは出来るのだ：2015年のディウ島の旅でアラビア海に浸されるラテライト壁を見て、深い感慨を持った著者であったが、なぜもう少し想像の翼が伸びなかったのかと思う。「ポルトガルの海」を詳しく知らなかったからだろうが。

ギリシャ、トルコでエーゲ海沿岸の遺跡を観た。オリムピア遺跡神殿跡では、二枚貝の密集した粗砂塊の柱に驚いた。ラテライトはなかった。

ポルトガルはまず西へ、アフリカへ出てから、喜望峰を回って、東のインドへ向かった。エマヌエル王の一時代前に、エンリコ冒険王子が奴隷貿易で儲けたというアフリカ西海岸には、もしかしてラテライトがあったのであろうか。ポルトガル人たちは、そこでラテライトに親し

天然のラテライト土壌を切り出したら、断面は堅固な壁となりました。楔をかけると、ぼろっといくから、外からは登り難いのも長所です



↑ラテライト積み石の壁の間から見えるのは、監獄島。船の形をしています
←このラテライト、アルプケルケの残虐ぶりの証人であるが、石に口なし…

んだのであろうか。
アユタヤーには、ラテライトはない。ラテライトが生成されるのは、チャオプラヤー河古デルタである。新デルタのアントーン、アユタヤー、シンンブリーにはない。
旧デルタのカンペンペット、スコータイには、ラテライトを基礎とした中世建築が残っているが、その一つは16世紀後半にポルトガル傭兵が築いたものである。星型ではないが、ラテライト切り石を積んだ砦である。

● 外航船を迎えるアユタヤー

1511年のマラッカ攻撃中にポルトガルが送った使節の通ったルートについては前号で記

した。港市アユタヤーが、海から遠いことは、これまでに繰り返して話してきた。港市アユタヤーの利点はチャオプラヤー河とパーサク川、ロブリー川などを用いた「山の幸」集荷地点であった。シヤム湾に出る道は、浅いチャオプラヤー河本流だけでなく、ターチン川、スパンブリー川が利用されたことは、その沿岸のブリー群の存在が証明している。

山越えでアンダマン海に出て対岸のベンガル湾に向かうルートもあった。アンダマン海の港タヴォイ、メルグイなどがアユタヤーに獲得され、ベンガル湾沿岸との貿易に利用された。

しかし、マラッカを獲得したポルトガルはシヤム湾からチャオプラヤー河の大道を通り、王都へ向かうことを欲した。大船でアユタヤーを攻撃、獲得する野心もあったかもしれない。港市アユタヤーの問題は、長い広いデルタを蛇行するチャオプラヤー河の川曲がりを少なくし、流線型にすることであった。

「アユタヤー王朝年代記」ルアン・プラサート版は、ラーチャティボディー2世はサムロン運河を浚渫し、曲がり角にサーラー「休憩所」を設けたと記している。

きっかけは タイ vol.4

タイから繋がるライフストーリー



ボタンやポンポンをあしらってサーラー仕様の小物たち

新田咲子さん

手仕事が好き、

タイが好き。

チクチク縫って

人ともものを繋ぐ場に。

バンコクで久しぶりの針仕事

——駐在生活を始めた2002年当時のバンコク生活はいかがでしたか？

日本のテレビではタイというと大きな川が映されるので、私たちも水上生活になるのかと思っていたくらい何も知らず始めたタイ生活でしたが、下の子がバーンラック幼稚園というシュタイナー幼稚園に通うようになって、理念に基づいた教育に力を入れていたタイ人の園長先生、タイの伝統音楽やタイ舞踊の先生方と接する機会を得てタイ社会での世界がぐっと広がりました。幼稚園は子どもだけでなく、私自身を高めてくれる場所になっていました。

園では給食で使うランチチョンマツトを親が作ることになっていて、本当に久しぶりにクロスステ

ッチを刺して作りました。ウオルドルフ人形を作るワークショップもあって、手芸部のような気持ちで参加していました。

——それが手仕事の事始めだったのですか？

もともと何かを作ることが好きで、高校の時から自己流で服を作ったりしていました。当時は美大に行きたかったのですが、早く経済的に自立したい気持ちが強かったし、化学が好きだったこともあって進学先は薬学部。手先が器用だったので、解剖の授業はいつも一番に終わっていました。でも、薬学はどうしても好きになれなかった。卒業後は医薬品輸入業の管理薬剤師として総合商社に入社して、薬関係の商品の輸入、通関から販売まで担当していました。それが今の仕事に生きています。原価と販売価格の関係が感覚的に分

かりますから。

横浜の自宅にサーラー開店

——帰国後にお店を開くことは念頭にあったのですか？

いいえ。まったく考えていませんでした。帰国してからはしばらく、パートで薬剤師をしていたんですよ。

お店をやるうと決めたまきっかけは「心のトリートメント」という母親のためのコーチング。のぞきに行つたところ「将来の夢を言ってください」と言われて……：自分の夢なんて考えたこともなかったもので、しばらく思索した結果、無理矢理口から出たのが「ギヤラリーみたいなのをやりたい、と思つていました」でした。そしたら「なぜ今からじゃダメなの？」と。それで「そうか、今からでもダメじ



自宅店舗の前で。現在は予約制

Sakiko Nitta

1965年大阪生まれ。武庫川女子大学薬学部卒。SaaLaa Shop & Atelier (サーラー～ショップ&アトリエ) 主宰。在タイ期間2002年6月～2009年3月。帯同家族として、2人のお子さんを連れて約7年間バンコクに暮らす。本帰国後の2013年、アジア雑貨をアレンジした商品やオリジナル製品を販売する店を、横浜の自宅を改装してオープン。昨年、各地のイベントに出向いて出店するSaaLaaキャラバンを開始。手仕事のワークショップなども行っている。

やないかも」と、半年で準備して2013年6月に「SaaLaa(サーラー)」をオープン。タイのサーラー(東屋、休憩所)のように人が集まる癒しの場になるようにという願いから名づけました。

お店にしている1階の部屋はサーフボードを置く場所でした。夫の趣味がサーフィンなものですから。夫には何も言わずに(笑)、使うこととして、週に2回、火曜と水曜だけの開店です。

オープン前の2月に雑貨店をやっている先輩といっしょにタイに買い出しに行き、チャトチャック市場やワラート、チェンマイで仕入れながら、いろいろと教えてもらいました。

——ゼロから始めるとなると大変ですよね！

私のおばが自分の店をやっ



本来の 自分に 戻れる場所

Q あなたにとってタイとは？

自宅1階のアトリエは主宰者の「好き」が満載の宝箱。青いシルクとシャツを組み合わせて、咲子さんらしい意匠で制作中

て、それを手伝ったり、間近で見たいせいか、店を開くハードルは高くありませんでした。

バンコク時代はおばさんの依頼で、布や小物を買ってちよっとしたものを縫いつけてアレンジし日本に送っていました。チェンマイの手漉きの紙の封筒に端布をはってタイの風景を演出したものはとても人気がありましたよ。

——すでにバイヤーでありプランナーだったわけですね。

幼稚園のバザーでも商品企画を(笑)。サーラーでも、仕入れたものをそのまま並べるのは好きではなくて、ボタンやポンポンをつけてひと手間かけています。

サーラーキャラバン

——順風満帆でしたか？

その後開店は週1回に。オリジナルの洋服を作りたくなりソーイングスクールに通い始めたためです。以前から服は作っていたのですが、基礎から習ったことはありませんでしたから。それに、だんだん来る人が少なくなつて「待ち」の時間がしんどくなったこともありま

す。ある時「行きたいけれど、休みがなくて行けない」と友達が言うので「じゃあ、持っていってあげると出張販売をするようになりまし



※ 左：タイ伝統音楽の先生のご自宅でタイ楽器の演奏家たちと(2008年) 右：クリスマスの時期に家族いっしょにバンコクのホテルで

から始め、ブローチ作りのワークショップもやっています。お店をやっていくことはしんどいし、時間的にもきつい。お金も薬剤師をやっていたほうがいいです。でも、自分の作ったものを気に入ってくれて、お金を出して買ってくれた上に、喜んでくださる。それはうれいしいものです。お店を始めて、これまで周りになかったタイプの人と知り合いになれたこともうれいしいですね。脱サラしてパン屋さんを始めた人とか、もの作りをしている人たちとの繋がりは触発されます。

——今後やってみたいことは？

サーラーキャラバンで日本各地にいる友人を訪ねたいですね。タイティストのあるオリジナル作品を作つて展示販売したいですし、一から自分で作ったものを売っていききたい。本当に作りたいものはないだろうと考えながら、しっかりと企画したものを作っていきたいです。

——ありがとうございます。

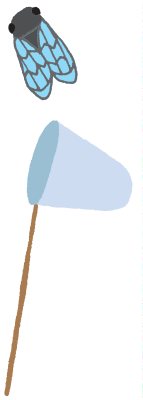


キッズルーム

● えいごで遊ぼう！

絵本の読み聞かせや、カードで遊びました。音楽に合わせて身体を動かしたり、優しい先生といっぱい遊びました。

6月23日(木)
投稿/稲垣 優



● ゆめてらす×すくすく会スペシャルコラボ体験会

プレスクール「ゆめてらす」とコラボ体験会を行いました。この日は土曜日。パパも一緒にいらっしゃるなど沢山のご家族にお集まりいただきました。手遊び歌・身体を使ったゲーム・パネルシアター等、盛り沢山の内容で、子どもも大人も一緒に楽しいひと時を過ごしました。

5月25日(土)
投稿/向井 愛



● 出張似顔絵たとたと

今回もとっても可愛く仕上り、ママもお子ちゃまもご満悦 バンコクでの良い思い出になりましたね。

5月31日(金)
投稿/E.H



● 父の日メッセージカード作り

日本では間もなく父の日ということもありメッセージカードを作りました。好きな色のカード&ネクタイを選んでお絵かき。お父さん喜んでくれるかな？

6月11日(火)
投稿/井上 愛



● キッズルームSP

「キッズルームの中でもっと身体を動かす機会がほしい！」との声から生まれた今回の企画。ボールプール、トンネル、椅子を並べた平均台などで遊んだ後、パラバルーンで締めました。定期的な開催を目指しているの、またぜひ遊びに来てくださいね♪ もちろん、ねんねちゃんも大歓迎♪

5月28日(火)
投稿/石井杏奈



出産準備教室の 「母親教室」「両親学級」

日程など詳細についてはホームページをご覧ください
<https://syussanmeeting.wixsite.com/syussanbkk>

すくすく会のホームページ

詳細・お申し込みはこちらから
<https://sukusukubkk.wixsite.com/sukusukukai>

すくすく会通信

Vol.16

おっぱいミーティング

妊婦さんには授乳についての講義を、産後のママさんには育児についての様々な悩みや疑問を、スタッフの体験談を交え座談会形式で行っています。基本的に、毎月第3火曜日に、サミティベート病院で開催。



みんなで楽しく遊んでいるよ～、遊びに来てね～

● 今後の予定

8月はお休み
9月17日(火)
10月15日(火)

Look



わんぱくミーティング

● わんぱくミーティング

6月のわんぱくミーティング、テーマは「雨の日も楽しく遊ぼう」。自己紹介で打ち解けた後は、てるてる坊主を作ったり、パネルシアター「あめふりくまのこ」では、みんな次に何が出てくるかワクワクしながら見ていました。

.....6月14日(金)



パネルシアター。何が始まるのかな

● さくらんぼミーティング

双子、多胎児向けの座談会を開催しました。9人の双子ママと、ねんねの赤ちゃんからあんよちゃんが集まり、賑やかな会となりました。..... 6月19日(水)



● 今後の予定

8月はお休み

9月12日(木) 離乳食ミーティング ※9/1～要予約

9月17日(火) ペんうさコアラ合同わんぱくミーティング

Look

すくすくだより編集部



■ 主婦ライター募集!

すくすくだより編集部では、一緒にすくすくだよりを作ってくれる仲間を募集しています! 「バンコクすくすく会」はタイ国日本人会の活動の一環として、バンコクでの出産・子育てのサポートをすべく主婦ボランティアによって運営されています。すくすく会員にお届けする情報誌『すくすくだより』を作るために編集部員は新しいことに色々挑戦し、情報収集をしています。来タイ1週間! 妊婦さん! 子どもがまだ1ヶ月! などどんな方でも大歓迎です。ぜひ一度見学に来てください。スタッフ特典として、すくすく会年会費免除の他に慰労会もありますよ!

■ 次号のお知らせ

10月号 (NO. 210) は「旅行記2019(仮)」。編集部スタッフが、この1年で行ったタイ国内外の旅行体験記を大発表! 子どもを連れて皆どこに行ったの? あなたの旅行にお役立てください。子育てコーチングでお馴染みのひろっしゅコーチこと、山崎洋実さんのコラムも好評連載中です!

■ 編集部遊びに来ませんか?

9月6日(金) は通常編集会議、9月18日(水) は「すくすくだより旅行記2019(仮)」の入稿作業を行います。いずれも日本人会別館で9:30から。興味を持たれた方は、sukusukudayori@yahoo.co.jpまで。おしゃべりサロンの参加申し込みは <https://sukusukubkk.wixsite.com/sukusukukai/zadankai> からも可能です。

投稿/高山容子



6月のおしゃべりサロン「大人のヒヤリハット!」はスタッフの自宅で行いました。タイでの詐欺、スリ被害などの体験をお喋りしました

ジャックフルーツの種をかたどった緑豆餡に卵をかためたお菓子

メツカヌン

世界最大の果物と言われるジャックフルーツ。タイ産のものは重さが5〜18キロくらいだそうです。暗緑色の分厚い皮にはドリアンより小さなトゲトゲ。巨大な果実を切り開いて、黄色い果肉を量り売りする屋台は、雨季も後半の風物詩です。皮の中には手のひらの半分ほどの房状の果肉がぎっしり。それぞれの房に長さ2センチ

ほどの楕円形の種が一つずつ入っています。メツカヌンはそのジャックフルーツの種をかたどったお菓子。蒸した緑豆にココナッツミルクと砂糖を加えて煉った餡を楕円にまるめ、アヒルの卵の卵黄をくぐらせ、シロップで煮ていきます。料理書によるとコツは煮るときの火加減。熱すぎないことが肝要で、理由は高温だ

とシロップに入れたとたんにお菓子が散ることもあるし、また緑豆餡の底部に卵液がたれた部分がで

きないからというのです。「卵液のハネ」つきであることが種らし

さ？そこが解せなかつたし、そもそもなぜ卵黄色なのかも疑問でした。

というの私の知っているジャックフルーツの種は、茶色の薄皮に包まれた大きな豆。茹でると栗のような食感で、特に一日陽に干してから茹でたものは甘みが増してホクホクです。イモクリナンキン好きなら気に入ること間違いなし。売り台に並べていなくても、ジャックフルーツ屋台ではたいい生の種を売っていますよ。

そのおいしい種が果肉の中にあるとき、黄色い膜に包まれていることを知ったのは、買って来たバック詰めジャックフルーツに種を取り忘れた果肉がひとつ紛れ込んでいたから。それを見てようやく腑に落ちました。

タイでは、ジャックフルーツ(カヌン)を家の裏に、スターベリー(マヨム)を家の前に植えると縁起がいいと言われています。カヌンの「ヌン」は「後押しする・引き立てる」の意味があり、マヨムの「ヨム」は「好まれる・人気がある」の「ニヨム」に通ずるからだそうです。



ジャックフルーツの種(手前)は果肉と同じ色の薄い膜で被われている。中に茶色の薄皮に包まれた種

連載 58

タイのお菓子は二度おいしい



メツカヌンเม็ดขนุน。「メツ」は種、「カヌン」はジャックフルーツのこと

SECOND HAND STORE



売れるものは何でも買わせていただきます。



買取 サービス

持込み大歓迎！
出張買取喜んで！！
もちろん査定無料です。

- Brand name items
- Fashion items
- Furniture
- Home Electronics
- Table ware, Toy, etc.

日本語でお気軽にお問い合わせ下さい♪

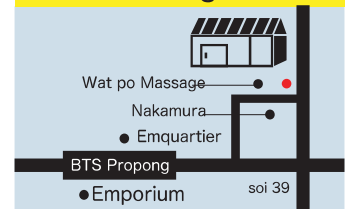
出張買取に関するお問い合わせ、ご予約

080-239-7222 または 083-615-6333

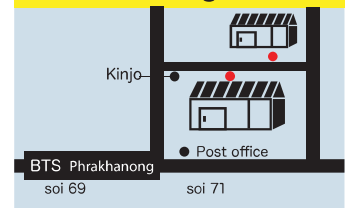
持ち込み買取、ブランド品、時計、貴金属に関するお問い合わせ

092-251-0944 または 083-615-6333

PhromPhong Branch



Phrakhanong Branch



Open Every Day

10:00 - 20:00





タイ国日本人会
Japanese Association in Thailand

LINE@

タイ生活に役立つ 情報配信中！

@nihonjinkai

🔍 検索

在タイ日本人の皆様へ毎週2回（月・木）
楽しいイベントや子育て情報をお届けしています！

LINE@登録方法

【その他】 > 【友だち追加】 > 【QRコード】 より下のQRコードを読み取る
または
【その他】 > 【友だち追加】 > 【ID検索】 より **@nihonjinkai** と入力



日本人会LINE QRコード